

模範解答（出題意図、キーワード等）

設問 1-1.

キーワード：畜産の拡大、家畜頭数の増加、環境負荷（土壌劣化、水質汚染、森林減少）、メタンガス、地球温暖化、穀物の大量消費、食料と飼料の競合、貧困地域の食料不足、越境性動物疾病、悪臭など。

解答例：畜産の世界的な拡大に伴い、家畜の飼養頭数が増加し、様々な面で環境負荷が増大している。一例として家畜やその排せつ物が発生源となるメタンガスは地球温暖化に大きな影響を及ぼすと考えられ問題視されている。

設問 1-2.

キーワード：テクノロジー、人類の繁栄、影響力、弊害、インターネットと情報不正利用、原子力発電と事故、内燃機関と温室効果ガス、人工培養肉、安全性、環境負荷、検証、持続的、普遍的、科学的など。

解答例：テクノロジーの発展は人類の繁栄に大きく寄与するが、その影響力や普及が広範囲になると、予想もしなかった弊害をもたらす危険性を秘めていることを十分に考慮する必要がある。例えば、インターネット等の情報通信技術の進歩と普及は人々の生活を大きく変え便利にしてきたが、大規模な情報漏洩やその犯罪利用、サイバー攻撃という新たな脅威が発生している。また、情報インフラを支えるためには膨大なエネルギーが必要となり、環境負荷が増大している。人工培養肉は環境に優しいと言われるが、技術革新が進んでも工場内で製造することに変わりはなく、そこには多大なエネルギーや材料資材の投入が必要となり、かえって環境負荷が増大するかもしれない。新しいテクノロジーについては、その安全性や環境負荷などについて、科学的で中立的な立場から継続的な検証を行い、持続的で普遍的に人類の繁栄に寄与できるかを検証しながら、活用することが重要である。

模範解答（出題意図、キーワード等）

設問 2-1

キーワード：二期作、二毛作、裏作、農家の高齢化、兼業農家など。

解答例：二期作、二毛作、水田裏作などの例が示されていること。

設問 2-2

キーワード：補助金、農地の集積・集約化、農業法人など。

解答例：農業白書 p. 152 には「多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金等により荒廃農地の発生を防止しつつ、農地中間管理機構(以下「農地バンク」という。)による担い手への農地の集積・集約化や農業委員会による所有者等への利用の働きかけ等により、8 千 ha の農地の再生に努めました。引き続き国内の農業生産に必要な農地を確保するため、地域における積極的な話し合いを通じた、担い手への農地の集積・集約化等で荒廃農地の発生を未然に防ぐこと等が重要」とあり、

1. 補助金など耕地の荒廃の発生を防ぐこと
2. 担い手への農地の集積・集約化等で荒廃農地の発生を未然に防ぐなどについて類似の記述があり、論理的に意見を述べていること。